

◆◇植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン vol.81◇◆

2017年4月10日号(第81号)

◇◆ INDEX ◇◆

1. 「注目度の高い論文 (Top10%補正論文) の割合が最も高い大学内部組織」
として当研究所が公表される。
2. 平成29年度「岡山大学資源植物科学研究所一般公開」のおしらせ
3. 大学院入学説明・相談会のご案内
4. 研究成果の紹介：投稿のお願い
5. あとがき

1. 「注目度の高い論文 (Top10%補正論文) の割合が最も高い大学内部組織」
として当研究所が公表される。

科学技術・学術政策研究所が日本の31大学の約900の大学内部組織を対象として自然科学系の論文データベースを用いて調査した結果、資源植物科学研究所が全論文に

占めるTop10%補正論文割合の最も高い組織であることが明らかにされました。当研究所への高評価は、共同研究等でご協力いただいている所外の先生方のおかげでもあります。

今後とも皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

<http://www.nistep.go.jp/archives/31802>

2. 平成29年度「岡山大学資源植物科学研究所一般公開」のおしらせ

当研究所では、5月13日(土)に一般公開を開催します。

「きて、みて、発見!!植物っておもしろい!」
というタイトルで実験体験や研究紹介などを行います。
ぜひお越しください。

日時: 平成29年5月13日(土) 10:00~15:00

場所: 資源植物科学研究所

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/information/20170315.html>

3. 大学院入学説明・相談会のご案内

研究所公開の同日の5月13日(土)10:00~15:00に大学院入学説明・相談会を開催します。

植物研の大学院に進学をお考えの方は、是非ご参加ください。

また、興味のある方へのご周知もよろしくお願いいたします。

植物研では、2ヶ月に1回、「大学院進学説明会」を開催しています。

詳しくは、以下のホームページで順次お知らせいたします。

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/education/education4.html>

【お問い合わせ先】

岡山大学資源植物科学研究所 鈴木信弘

TEL: (086)424-1661 E-mail: nsuzuki@rib.okayama-u.ac.jp

4. 研究成果の紹介：投稿のお願い

このメールマガジン本体とは別に、毎月25日に増刊号として研究成果紹介号を発行しております。植物ストレス科学の研究成果をPSS netのなかで広く共有できることを目指しております。PSS net登録メンバーの皆さまの最新成果の論文をご紹介ください。

毎月20日までに admin@pssnet.org 宛に、以下の形式で情報をお送りください。

(日本語紹介) <改行>

(著者) <改行>

(タイトル) <改行>

(掲載誌情報) <改行>

<例>

分子、細胞、組織レベルでのイネとイネ科植物における耐塩性機構についての総説。

Horie, T., Karahara, I., Katsuhara, M.

Salinity tolerance mechanisms in Glycophytes: An overview with the central focus on rice plants.

Rice 5:11 (2012)

皆さまの投稿をお待ちしております。

5. あとがき

今年の倉敷での開花宣言は平年より遅く、今(4月8日)が満開の時季となっております。

皆さんの研究室でも、新メンバーを迎えたり、新たな気持ちで新年度を迎えていること

と思います。ある時、機内誌を読んでいたら、日本を離れたくない時季が年に数回ある

とのことで、3月から4月の桜の時期、それから5月のゴールデンウィークが含まれて

いました。確かに清々しい時期ですね。筆者もうなずいて、考えてみると、生まれてこのかたこの時季日本をというより、住んでいる場所を離れたことがありませんでした。

人ごみがきれいなこともあるのですが――。挙げられている時季は、日本らしさを感じることができるかと思います。桜は何百本と植えられてなくとも、路傍で見かけるのも良いものです。研究所にも古いアーモンドの樹があつて、桜より若干大きめな花を咲かせて所員の気持ちを和ませてくれていました。ソメイヨシノより若干早めに咲き始めていました。しかし、残念ですが、数年前に樹勢が衰え、切り倒されてしまいました。その替わり、「研究所百周年記念」および「ジョモケニアッタ農工大学との友好記念」事業として2年前に植樹した桜が今年は初めて綺麗な花を咲かせました。

話は変わりますが、先月、比較的大きな国際学会に参加してきました。カリフォルニアのアシロマーと言うところで行われました。ご存知の方も多いかと思いますが、アシロマー

は1975年遺伝子組換えに関するガイドラインについて初めて議論された場所です(Wikipedia)。

それはさておき、何年か振り(あるいは10年以上かもしれません)にポスター発表を行いました。そもそも、この学会に初めて参加したのですが、ポスター発表を盛り上げるべく、各分野で優秀発表を学生、ポスドク別に表彰することになっていました。筆者も評価基準・

評価方法を渡され、筆者にとっては異分野のポスター数十題の評価をさせられました。

また、同時に筆者自身のポスター発表も行いました(筆者も評価対象となっていたらと考えたら冷や汗ものでしたが・・・)。ポスター発表を好まれる方もおられるかもしれ

ませんが、筆者はあまり好きにはなれません。手持ちぶさたで、何をして良いか分からない

時があります。待ち合わせの相手がなかなか来ないのを待っているような感じの時もあり

ます。筆者の分野は、マイナーなので、大勢の聴衆がくることはありません。通常知り合い

とか、本当に近い分野の方が聞きに来てくれる感じです。しかし、今回は科学新興国から

学生と思われる人物が、必死に質問をしてきました。しかし、言語の障壁でなかなか意思

疎通が困難でした。次にその彼女は、ポスドクとおぼしき方を連れてきました。

しかし、状況は進展しません。暫くして、PIと思われる方が名刺をくれて、最近彼らが

発表した印刷中の論文をスマートフォンで見せてくれました。全く異なるストレス因子に

対して、共通のレギュレーターが界の異なる生物種で関与することに、興奮している

こと
がやっと理解できました。新鮮な経験をしました。

「植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン」

■発行日 2017年4月10日

■発行元 岡山大学資源植物科学研究所

植物ストレス科学研究ネットワーク (PSS net) 委員会

■WEB サイト <http://www.pssnet.org/index.html>

メールマガジン登録変更・解除の手続きは

<http://www.pssnet.org/howto/maillist.html>

をお願いします。

(このメールは送信専用メールアドレスから配信されています)